

2019年9月4日(水) 山陽新聞 [おからプラス]

# カラフル、ポップな表現

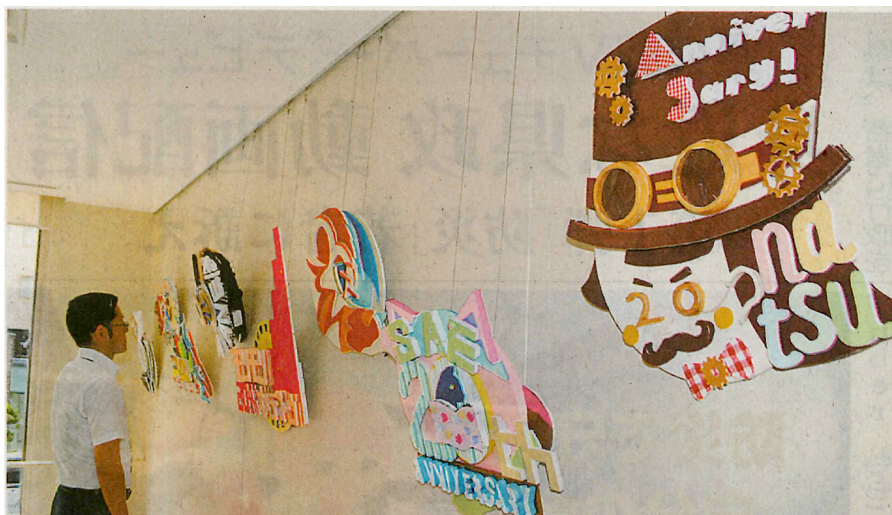
## 川崎医福大生 デザイン作品展

川崎医療福祉大医療福祉デザイン学科の学生作品選抜展が、倉敷市松島の川崎医科大学付属病院の3階ギャラリ「ホリスティック」

の授業で「積層」をテーマに制作した作品から8作品を選んだ。円形にくりぬいたエチレンボードを何層にも重ね、人の顔や動物の形にしたり、レコード盤のように装飾したりと工夫。カラフルでポップなデザインが目まぐるしく見られる。

また、昨年の西日本豪雨で被害に遭った同市真備町地区への支援活動といった取り組みや、病院の壁面装飾などの成果も発表。同学科の合田喜賢講師は「平面、立体、素材の特性を生かした作品。患者さんらにとって安らぎの空間になれば」と話している。

川崎医科大学付属病院で開かれている学生作品選抜展



入場無料で午前9時～午後6時(最終日は同4時)。土曜午後、日曜、祝日は休み。

(岩谷圭)